

装飾性に優れたタオルマフラー

— タオル製品デザイン企画手法開発研究 (S45~) —

愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター 主任研究員 石丸 祥司

今治地域の特徴あるジャカード織り技術、染色加工技術を活用した装飾性に優れたタオルマフラー製品を試作しました。

ジャカード織り技術を活用した製品試作

テクスチャー表現の多様化を図るために、従来使用されていなかった織り組織とジャカード織り技術を活かした製品

■模紗織り応用組織

2枚の模紗織りの格子目をずらした外観を持つ織物



模紗織り応用組織

■ひだ織り応用組織

通常のひだ織りより織り密度の粗い構造の織物



ひだ織り応用組織

■千鳥格子応用組織

経て糸のストライプが織り組織により立涌(たちわく)のように見える織物



千鳥格子織り応用組織

■地織りジャカードのパイル織物

地織り部分にジャカード織り柄を展開した短パイル織物



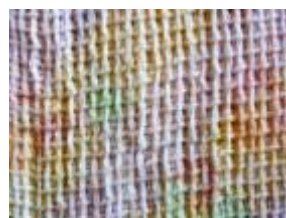
地織りジャカードパイル織物

染色加工技術を活用した製品試作

後加工（インクジェット捺染と草木染め）により、装飾性の向上を図った製品

■インクジェット捺染機

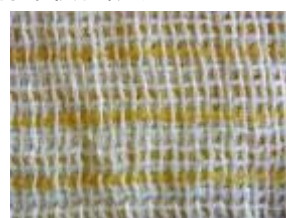
模紗織り応用組織のジャカードタオルにインクジェット捺染機を使用し、反応染料による捺染を行いました。



インクジェット捺染模紗織り生地

■草木染め

模紗及びひだ織り応用組織を使用した生地によこ糸に、綿糸、ウール糸、シルクを併用し、染料に対する素材の染着性の違いを利用した装飾効果を目的に草木染めを行いました。



よこ糸に綿糸、ウール糸を使用した草木染め生地

綿糸以外の素材を用い、また糸の加工やタオル織物では使用されていない織り組織を使用し、さらに後染め加工（インクジェット捺染、草木染め）を行うことにより、従来製品にはないジャカード織り技術を活かしたプリントタオルマフラーと草木染めタオルマフラー製品を開発できました。